

2020年8月18日 ライブQ&A with バリー牧師・マイク牧師

アミール・ツアルファティ

- 終末に関する9つの質問 -

[YouTube : 2020年8月18日ライブQ&A](#)

[アミール] 今日ご一緒下さるのは、マイク・ゴレイ牧師とバリー・スタグナー牧師です。今、画面にお二人を追加します。シャローム。

[マイク牧師] シャローム。

[バリー牧師] シャローム、お目にかかれてよかった。

[アミール] もう一度、神のみことばを調べ、世界中の人からのご質問に答えるチャンスがあるのをとても嬉しく思っています。バリー牧師、お祈りから始めていただけますか？

[バリー牧師] もちろんです。

お父様、どうかこれを続けさせてください。悪魔の手を、機器や電波に触れさせないでください。主よ、私たちがあなたの御言葉からあなたの人々を励まし、強める事が出来ますように。ですから主よ、私たちはこの時間、バランス面であなたからの方向性と、お守りを求めます。感謝してイエスの御名によってお祈りします。アーメン。

[マイク牧師] アーメン。

[アミール] アーメン。マイク牧師、よろしくお祈りします。

[マイク牧師] はい、もうすでにたくさんの質問がきています。はい、皆さん、基本ルールだけをご説明します。私たちは掲示板を礼儀正しい、良心的なものにしたいと思います。私たちは、聖書、預言、特に中東での出来事に関する質問にお答えします。現在発生している出来事が預言に関連しているのが見えますから。そのため、形式は次のとおりです。掲示板で質問を下されば、遠くから見ている管理人がこれらをピックアップしてくれれます。すでに入ってきていますね。基本的に、私が皆さんのお名前とご質問を紹介し、それから、それをアミールかバリー牧師のどちらかに投げかけます。では、さっそく始めましょう。ブレント、ご質問ありがとうございます。これは直接アミールに行きます。

Q：「黙示録6:8は、世界人口の25%が死ぬということですか？それとも、死とハデスが地球の25%以上を支配するということですか？」

それについて、どうお考えですか？その聖句を読んだ方がいいかもしれませんね。

[アミール] 黙示録のどこですか？

[マイク牧師] 6章8節です。

[アミール] はい。黙示録6章8節には次のように書かれています。

では、7節から始めましょう。なぜなら、それは全部第4の封印の一部だからです。

「小羊が第四の封印を解いたとき、私は、第四の生き物の声が、『来なさい』と言うのを聞いた。私は見た。見よ、青ざめた馬であった。これに乗っている者の名は『死』といい、そのあとにはハデスがつき従った。彼らに地上の四分の一を剣とききんと死病と地上の獣によって殺す権威が与えられた。」 (7-8節)

さて、マイク、どういう質問でしたか？私はそれを読んでいるんですが…

[マイク牧師] はい。

[アミール] その箇所に書かれているのは、地球の4分の1が殺される事になり、そして、その具体的な方法が挙げられています。

[マイク牧師] はい、黙示録6：8は、世界の人口の25%が死ぬことを意味するのですか？それとも死とハデスが惑星の25%を支配することになるのですか？

[アミール] では、もう一度読んでみましょう。

「…彼らに地上の四分の一を剣とききんと死病と地上の獣によって”殺す”権威が与えられた。」（8節b）

つまり、私の方では、人口の25%が亡くなります。つまり、ここはかなり明白にされていて、その方法まで分かります。だから、はい、そうです。いいですか。私がいつも人々に伝えようとしているのは、これなんです。「アミールさん、もしかして、黙示録がすでに成就している可能性はありますか？」と言われる時、そしてもちろん、こういう黙示録の預言が西暦70年にすでに実現したと信じている人たち。私は、いつも彼らをまさにこのような聖句に導きます。そしてこう言います。「皆さん、いつ歴史の中で地球上の25%が滅ぼされましたか…？」これはただ1つのことではありません。いいですか。それは剣であり、ききんであり、死であり、病気による死とか、何でも、それから地上の獣です。ですから、地球の人口の四分の一が、一掃される原因となるものがたくさんあります。マイク、今の地球の人口は、だいたいどれくらいなのでしょう？

[マイク牧師] いい質問ですね。分かりません。

[アミール] 約80億？90億ですか？

[バリー牧師] 75億。

[アミール] 75億。では、その25%はだいたい、どれくらいでしょう？

[バリー牧師] 16億。

[アミール] 今日だったら16億人。地球の人口は増える一方です。ですから、それが起こる頃には80億人になっていて、そのうちの20億人が亡くなるでしょう。さて、お尋ねしますが、地球の歴史の中で人口の25%を殺したものを一つでも示してみてください。さて、明らかに、それは私の知る限りでは、一度も起こった事はありませんでした。私が間違っていたら教えて下さい。今は（ノアの）大洪水の事は言っています。その事は含めていません。洪水以降の話です。ですから、これは間違いなく未来の出来事です。そして、間違いなく25%、つまり地球上の四分の一が文字通りに死ぬのです。特定の国の四分の一ではありません。それは地球上のです。

[マイク牧師] そうですね、世界的な死。

[アミール] バリー牧師はどう思いますか？

[バリー牧師] まあ、その前に、馬に乗っている者の話があって、文脈が設定されていると思います。他の事はすべて世界規模で起こっています。第二の封印の下で騎手が出てきて、地上から平和を奪うとき、それは全地球が含まれます。だから、文脈はすでに設定されており、第五の封印の下では、首をはねられて祭壇の下にいる人々の魂が、「いつになったら”地上”で私たちの血の復讐をしてくださるのでしょうか？」と言います。（6:9~10参照）繰り返しますが、6章8節のこの騎手の前後で、世界規模の出来事について話をしています。したがって、そこから離れる理由がありません。実際のところ、これをいきなり局所的な出来事に限定するのは、基本的に解釈のルールに違反することになります。その前後では、世界的な出来事の事が語られているのですから。

[アミール] ええ、だからこそ、それが西暦70年に起こったとは信じがたいと思います。西暦70年とは、エルサレムだけの特定の出来事を指しています。ユダで起こった特定の出来事、神殿の崩壊、ユダヤ人に起

こった悲劇のことです。しかし、それは間違いなく… いいですか、ネロがローマを焼いたと仮定しましょう。繰り返しますが、地球の人口の25%が？ちなみに、私が見る限りでは、ここで必ずしも戦争が起こっているわけではないようです。というか、よく考えてみれば、ここにあるものを見てください。ここではききんがあり、剣があり…そう、剣はありますね…剣、ききん、死です。しかし、戦争が究極の理由とは思えません。それは明らかに飢餓と自然の要因による死と地上の獣によるものです。だから、これと西暦70年の出来事との間にはなんの関連性もありません。間違いなく、それは今後起こるであろう大規模で悲劇的な出来事のことです。

[マイク牧師] ええ、それが大患難についての真実です。これは、患難にまつわる否定的な恐ろしい現実のほんの一つに過ぎません。それはまさに苦しみなんです。困難な時なんです。すばらしい質問でしたね、ブレント。バリー牧師、グレニスからの質問です。

Q：「イエスが戻って来られる前に、全世界がイエスのことを聞かなければなりませんか？」

[バリー牧師] 再臨のことを言っているのか、それとも教会のための（空中）再臨のことを言っているのかによりますね。よく耳にするのが、人々がちょっと皮肉を込めて、こう言っている事です。「もし携挙の前に最後に救われる人が誰かが分かっていたら、私たちはその人たちに寄ってたかって主を伝えているでしょう。」しかし、実際には、この聖句の成就是、大患難の期間に、中天で説教をしている御使いからのものなのです。（黙示録14:6～13参照）全世界がキリストの福音を聞き、その期間が終わった後にキリストが戻ってこられます。しかし、私たちは、1) 神は、誰も滅びることがなく、すべての人が悔い改めることを望んでおられるのを覚えておかねばなりません。だから、神が救いに気が進まないという時は絶対にありません。しかし、救われる者が皆、救われる時が来ようとしています。そして、私たちが知っている物事に終わりが来ます。だから、私はそうは思いません。聖書には、教会の携挙のために定められた日と時があると書いてあるので、それが人類の歴史の中で最大のリバイバル、大覚醒と言うべきものにつながるでしょう。大患難の期間中に、その中から無数の群衆が救われるでしょう。ヨハネの黙示録6章にある、その次の封印は、この多くの人々について語っています。私たちは出て行って、福音を伝える必要があります。それは人々が救われるのを見たいからであって、ここから出ようとしているからではありません。私は他の人と同じようにここから出る準備ができています。しかし、私たちは神からこの世に出て行って、すべての被造物に福音を宣べ伝える事を命じられています。神を信じる者が救われるためです。

[マイク牧師] そうですね、ありがとう、バリー牧師。アミール、他にコメントはありますか？

[アミール] ないです！バリー牧師の言葉に全て同意しています。滅多にないことですけど。いや、冗談です。（笑）

[バリー牧師] 誰かこの日付を書き留めて！

[マイク牧師] さて、メリンダが非常に良い質問を送ってくれました。アミール、これはあなたに聞かないと。昨日、あなたはこの事についてアップデートをしたから。

Q：「なぜ、最近のUAEとイスラエルとの取引を否定的に捉える人が多いのでしょうか？」

それはどう説明しますか？

[アミール] 分かりません。つまり、聖書を一通り見渡して、「平和条約を聞いたときは心配しなさい」という一節があったかなあ？と探しているんです。

[マイク牧師] 一本とられました。

[アミール] そういう節は見つけられませんでした。問題はね、マイク、こんにち、多くの人々が反キリストの枠組みを中心にして、こんにちの世界の出来事を見ているということです。そして彼らは、私たち信者

は、彼が権力を握るのを見ることはないのを理解していないのです。私たちは、彼が和平協定に署名するのを見ることはありません。私たちは、彼がユダヤ人に神殿の建設を許可するのを見ることはありません。私たちは、彼が神殿に入って自分をカミであると宣言するのを見ることはありません。私たちは彼が世界中の信者を皆殺しにするのを見ることはありません。私たちは彼がイスラエルを迫害するのを見ることもないでしょう。これは、イスラエルと諸国のために、確保されている7年間の患難です。そしてその期間中、そう、信仰を得る人たちがいます。彼らこそが大患難の聖徒なのです。私たちは、これらの事を心配すべきじゃないんです。私たちが心配すべきなのは... 正直に言うとね、マイク。私は、自宅の外で処刑された5歳児の方が心配ですよ。私は、意識不明になるまで叩かれてる人たちの事の方が気になります。私は、暴力や不法の方が気になります。つまり、それが私が心配している事であり、イスラエルとUAEの間の平和条約ではありません。

イスラエルとアラブ首長国連邦（UAE）の間の平和条約は、実際には聖書預言に、見事に関わっていて、エゼキエル38章に関わっています。ちなみに、エゼキエル38章はイスラエルへの侵略です。私にすれば、エゼキエル書38章によって、私の携拳が現実起こりつつあるのを知る事が出来るんです。なぜなら、ほら、反キリストがその戦争の後に平和をもたらすならば、私たちは彼を見ることはないのですから、それは、私たちが携拳されるのは、その少し前か、その最中か、その直後かであることを意味します。しかし、一つ確かなことは、私たちはその平和を見ることはないということです。私たちは、ダニエル9章の70週目が始まるのを見ることはありません。私たちは見ないはずですよ。だからこそ、私は、皆がいつも平和条約にそんなにこだわるのが理解できません。さて、何人かの人が私にメールをくださり、「アミール、イスラエルが土地を手放そうとしたり、アメリカがイスラエルの土地を分割しているのが心配なんです」と言ってきました。それは真実ではありません。それが真実ではない理由を教えましょう。なぜなら、イスラエルがその土地を全部持っていたのは、いつだったのでしょうか？というか、そうなるのは、おそらく千年王国においてだけでしょう。もしかしたら、イスラエルが土地を全部所有していた事があったかもしれません。私にはいつだかも分かりません。私は旧約聖書のすべての書を見ているのですが、国土は縮小したり拡大したり、縮小したり拡大したり、縮小したり拡大したりしています。まさにこれですよ。いよいよです。そして、大抵の場合、マイク、土地の広さは、常に、常に、国の霊的狀態に左右されていました。ですから、イスラエルが神に従わないのに、神が彼らに約束した世界の土地のすべてを所有する事は期待することはできません。マイク、私に言えるのは、これらの平和条約の結果、私たちが得ようとしているものは、以前に提案されたものよりも多いということです。そしてマイク、肝心な事（結論）は、人々が理解していない事で、それは、パレスチナ人は彼らが求めているもの全部に満たない取引には、決して同意しないということです。

[マイク牧師] そちらでの彼らの反応について教えてください。

[アミール] イスラエル人がUAEの国旗を掲げている一方で、パレスチナ人はそれらを燃やしています。

[マイク牧師] ええ。

[アミール] そして、彼らはそれを踏みつけています。そして、ちょっと聞いてください。アラブ人は今、パレスチナ人にとっても怒っています。ですから、どちらかと言えば、この条約はパレスチナ人を晒していて、彼らの偽善や恩知らずな事、それらすべてを暴露しているのです。私は皆さんに、近い将来にパレスチナ国家を見る事はないことを理解してもらいたいのです。確かに、トランプの案はパレスチナ国家を示唆しています。しかし、それはパレスチナ人が180度方向変換してイスラエルをユダヤ人国家として認め、ガザ地区を武装解除し、ハマスを武装解除し、ガザ地区を非武装化し、ハマスを非武装化し、パレスチナのテロ家族の扶養家族への支払いを止める場合の事です。

[マイク牧師] 彼らが同意する可能性はどのくらいでしょうか？

[アミール] 彼らは同意したことがないんです。未来を見なくても分かりますよ。私たちは彼らに、ずっと前からそうするように求めてきましたが、断られてきました。したがって、彼らが同意しない事は分かっています。ですから、彼らがそれに同意しなければ、国家は成り立ちません。つまり、イスラエルはパレスチナ国家に何度もイエスと言えるのです。彼らがこの基準の要件を決して受け入れる事はないからです。

さて、また、すべての視聴者に思い出してもらいたいのですが、1947年に、イスラエルはまだ国家では

ありませんでしたが、イスラエルの人々に対して、国連から、分割計画と呼ばれるものが提示されました。分割計画がどういうものか、ご存じですか？ガリラヤは私たちのものでなく、エルサレム、ユダヤ、サマリアも、私たちのものではありません。イスラエルが手に入れるものの6割は砂漠だけ。それなのに、私たちは、なぜ「イエス」と言ったのでしょうか？私たちは「イエス」と言いましたね？私たちが「イエス」と言ったのは、アラブ人が「ノー」と言うことを知っていたからです。だからこそ、私はパレスチナ国家に「イエス」と言う事に、何の問題もありません。1947年の時と同じように、彼らが「ノー」と言うことを知っているからです。だから湾岸のアラブ諸国やサウジアラビア、そして今やスーダンでさえも、忍耐が切れたんです。彼らは言います。「我々はパレスチナ人が何かするのを待っていた。彼らは常にノー、ノー、ノー、ノー、ノーと言う。もう時間はない。我々はイスラエルと何かやりたい。なぜなら、イランがすぐそこで我々を脅しているから。そしてイスラエルは、イランに対して我々を助けてくれると信頼できる唯一の地元中東のパートナーだ。」だから、この条約について、それほど心配する必要はないというのが私の意見です。これは実は良い事であり、良いものを生み出すものだということを理解していただきたいのです。そして、私たちは、そのような事をもっともっと見ていくでしょう。そして、そのすべては、シェバとデダンが確かに、イランとトルコとロシアのスーダンとリビアの侵略者の連合に反対することを立証するでしょう。だから、理解するのが大切な事ですが、信者である私たちは、彼らが平和条約と言うたびに、すぐにそんなに神経質になるべきではありません。

【マイク牧師】 そうですね。

【アミール】 私たちはどうしたんでしょう？イエスは、戦争や戦争のうわさについて聞いても、「うるたえないようにしなさい」と仰っています。（マタイ24:6参照）それが先に起こらねばならないからです。戦争や戦争のうわさがあるからといって悩む必要がないとすれば、なぜ平和条約のことで悩まなくてはならないのでしょうか？だから、繰り返しますが、反キリストのことを考えるのは止めましょう。私たちが慣れるべき事実は…

【マイク牧師】 そうですね。昨日のライブアップデートをご覧になっていない方は、YouTubeでライブアップデートを観ることをお勧めします。バリー牧師、私はこの会話に関して一つだけ知りたいことがあります。シェバとデダンはどこですか？あなたの意見ではUAEとのこの和平協定や、今後の和平協定と何か関係があるのでしょうか、バリー牧師？エゼキエル書に書かれている、シェバとデダンはどこにあるのでしょうか？

【バリー牧師】 まあ、基本的にはアラブ湾岸諸国、サウジアラビアを中心とした湾岸諸国の地域です。これは意義深い事です。1)イスラム教の発祥の地が、国際舞台で基本的にイスラエルに味方し、最近私たちが耳にしている通り、関係の正常化に向けて動いているからです。そして、奇妙なことにエジプト人やヨルダン人がイスラエルと取引をしているという前代未聞の事態が発生しています。このような国々は、過去においては、主要な攻撃者でした。しかし、アミールが話していた事に加えて、この問題について、もう少し明確にしておきましょう。この質問をよく聞くからです。これは封印が解かれているのでしょうか、それとも、これなのか、あれなのか？忘れてはいけないのは、ヨハネの黙示録6章で、御座に座られたお方、ふさわしいとされたお方が、7つの封印をされた巻物を開き始めるという事です。そして、最初の騎手が出て行きます。それは反キリストです。彼は弓を持って出てきます。彼は馬に乗っていて、手には弓を持っています。さて、しばしば見落とされがちだと思うのですが、我々は自動的に、弓と矢という観点で、弓の事を考えます。しかし、実際に使用されているギリシャ語の単語は、リボンのように結ぶ布地を示しています。創世記9章12節などを見てみると、神が二度と地を滅ぼさないと地と契約を結んだ時、旧約聖書のギリシャ語訳では、反キリストの手にある弓と訳されている同じ言葉が、神が契約の象徴として使った虹に使われています。それで、反キリストは世界の舞台に躍り出ます。初めに起こる事、患難を開始する最初のことは、反キリストがその手に自分で作った弓を持っています。トランプの和平案ではなく、彼が自分で作った弓です。そして、彼は立ち上がり、世界の舞台に躍り出て、全世界を制覇します。彼は中東にとらえ難い平和をもたらすからです。そして、これは大患難期に起こります。実際のところ、それは大患難期を開始する出来事です。そのため、今は見えませんが、聖書のモデルに適合しません。シェバとデダンに関して言えば、それは

非常に大きな進展です。今まで同盟を結んだ事のなかった連合軍が、イスラエルに対して団結しているのと同じくらいに。そして今、抗議をする国々が、関係を築き合い、外交を正常化しています。ですから、この時代を生きていることは、絶対にスゴイことなのです。そして、天から見るのでない限り、私たちは最初の馬に乗っているものが世界に乗り入れるのを見ることはないでしょう。イエスが封印を解いている時、私たちはすでにそこにいるからです。

【アミール】 そうですね。素晴らしいご回答です。バリー牧師。バリー牧師が言ったことを思い出してください。反キリストの彼自身の和平協定は、エルサレムの神殿を含むのです。マイク、神殿があるという事実のためにいけにえが再開されているのでない限り、彼がいけにえを止めることはできません。現時点ではそのことは話題になりません。エジプトでも、ヨルダンでも、アラブ首長国連邦でも、私たちとアラブ諸国との和平協定の中で、ユダヤ人が神殿の丘に第三神殿の建築を許されると書かれている条項を一つでも見せて下さい。つまり、現実を直視してみましょう。アラブのイスラム教国家の中で、それに署名する国はないでしょう。そして、彼らがそれをアブラハム合意と呼んだ理由は、イスラム教徒がイスラエルに来て、彼らもまた、彼らの宗教に従って、アブラハムが息子を犠牲にしようとしていた場所で礼拝できる事を示すためです。言い換えれば、マイク、今のアラブ諸国との平和条約は、ダニエルとは全く関係ありません。そして、黙示録とも何の関係もありません。それはエゼキエル38章のシナリオを形成している地政学的発展に、大いに関係しています。だから、私にとっては、それは心躍るもので、何も心配することではありません。私の携拳は、反キリストの平和条約に左右されない事を知っているからです。それは、エゼキエルの戦いを中心にしているのです。それは最終的に、その時にヨーロッパからやってくる平和を必死で求めさせることになるのです。だから皆さんに理解していただきたいのです。皆さん、忘れないで下さい。ダニエルは、誰がその平和を始める事になるのか。彼がどこから来るのか。その平和には何が含まれるのか、具体的に語っています。そしてこれらの事はどれも、トランプや湾岸のアラブの国に関するものではありません。そして、なぜ私がいつも「大患難はイスラエルの救いのためだ」と言っているのか理解できない人は、皆さんが理解することをお勧めしますが、エレミヤ30章でそれが「ヤコブの苦難」と呼ばれているだけでなく、ダニエル12章でも、ダニエルの民の上にこれまでに見た事もないような時が来るが、彼らは救われると語られています。私はそれ以外の世界の人々が大患難を逃れると言っているわけではありません。違います。私たちは、それが世界中で起こることになるという話をしたばかりです。しかし、その期間を通して、私たちはイスラエルの救いの実りを見ることになるのです。それが、私の言っていることです。そして、このような理由から、大患難がイスラエルの救いにつながるのです。それは、はっきり分かります。ホセア書5章15節には、「彼らが自分の罪を認め、わたしの顔を慕い求めるまで、わたしはわたしの所に戻っていよう。彼らは苦しみながら、わたしを捜し求めよう。」とあります。

【マイク牧師】 はい、ありがとう、皆さん。今、掲示板にコメントがいっぱい入ってきてます。いくつか、もっと明確にする質問について、もう少し掘り下げてみようと思います。「これはどこに書いてあるか？」と、聞いた人がいます。私たちは何度か引用しましたが、一気に読まないといけません。私から皆さんへの挑戦です。エゼキエル書38~39章を一気に読んで下さい。数回繰り返してお読みください。それらの地域がどこにあるか調べてみてください。欠けていたリンクの一つがリビアである事が分かります。リビアがどのような役割を果たすのか分かりませんでした。数週間前にアミールがその質問に答えてくれて、リビアの話が続いています。私たちは、いつも一体どうやってシェバとデダンが…と不思議に思っていました。バリーが特定したように、アラビア半島、サウジアラビア、その地域です。さて、今起こったことを見て下さい。今度は、他の国々が、勢いに便乗して、イスラエルと和平を結び、テロリストに一泡吹かせたいと思っています。ですから、それはとても興味深く、とてもエキサイティングな預言成就の時代なのです。皆さんは、過ぎ去らない世代なんです。もっと深く掘り下げていきたいと思います。これに関連してもう一つ質問が来てます。アミール、実は今朝、この話をしましたね。スーダンがイスラエルとの和平を検討しているという新しい噂について、お話していただけますか？それについて何か言えますか？

【アミール】 まず第一に、それは驚くことではありません。スーダンには数ヶ月前に、すでにイスラエルの首相が訪問していました。そして、彼らはすでに、南米行きの空域の使用を許可してくれています。した

がって、さほど大きな驚きではありません。しかし、スーダンは、イスラム教国家の中で、イスラエルとの関係に関心を持ち、最初に和平に署名をするのが誰か、待ち構えていました。そして、スーダン外務省の報道官が言ったのは、「UAEが先陣を切った後で、今や他の国々がそうする下地が作れた」と。そしてスーダンはそれに関心があります。もはや敵意は興味の対象ではありません。これは、非常に面白いことになってきましたね。さて、「ちょっと待って、スーダンはイスラエルに敵対して来るって言ったばかりじゃないか」と言う人もいるでしょう。ええ、私はそう言いました。マイク、それで正直なところ、だからエゼキエル書38章は明日起こることではないのです。1週間くらいかかるかもしれません。それは3週間であるかもしれません。

[マイク牧師] 結論は出ていませんね。

[アミール] そうです。私が思うに、スルタン・エルドアンは…私が彼の事を正しく解釈しているなら、彼はそれを許さないとします。そしてどういうわけか、次の…

[マイク牧師] 彼はそれが気に入らない。

[アミール] ああ、彼はイスラエルと誰かとの間で、今、起こっていることも気に入らないのです。しかし、スーダンは、彼にとって重要なんです。彼はスーダンの一部を乗っ取る計画だったからです。後にサウジアラビアに接近しやすくなるように。そして今や、スーダンでクーデターがあり、オマール・アル＝バシルは解任されたので、彼はスーダンに対する支配力を失ってしまいました。そして、何が起こっているかをご覧ください。（※2019年4月、スーダンクーデター）だから、マイク、話はこれで終わりではないと私は確信しています。トルコは何らかの動きに出るでしょう。どうにかしてスーダンを支配して、彼らの考えを変えるために。トルコは、それを阻止しようと決意しています。

[マイク牧師] そうです。そして皆さん、このQ&Aを覚えておいてください、皆さん、これは録画されています。そして、時計を進めるときに、ここで言われていることを覚えておいてください、なぜなら、これから先がどうなるか興味深いからです。バリー牧師、これに関連して、もう少し質問があるのですが。ジェイソンとゼイアスは、だいたい同じ質問をしています。ジェイソンが言うには、

Q4：「黙示録6章によると、黙示録の4人の騎士は赤、白、黒、緑だそうです。イスラム地域の国旗の大部分も白、赤、黒、緑です。ここに聖書的な相関関係はあるのでしょうか？反キリストを含めて、4頭の馬の乗り手がイスラム教から出てくると信じる人が大勢います。」

彼はアミールがそう教えてない事は知っていますけど。ゼイアスも同じ質問をしています。「このような条約は、イスラエルがイスラム教の反キリストを受け入れる証拠なのではないでしょうか？」それで、私が聞きたいのは、バリー牧師、反キリストはどこから出てくるのでしょうか？彼は、イスラム教徒になるのでしょうか？中東から出てくるのでしょうか？ここで少し、その説を論破してみましょう。率直に話しましょう。

[バリー牧師] ええと、それはかなり簡単な答えだと思います。ユダヤ人はイスラム教徒の反キリストに従うことは絶対がないので。

[アミール] その通り。

[バリー牧師] 彼らは、聖書によると、復活したローマ帝国から立ち上がる者の後を追うことになるのです。彼は、この契約を手にして地上に出てきて、国々を欺き、世界を偽の平和な時代に導きます。大患難の最初の部分で患難が起こっているでしょうが、すみません。馬に乗るものたち、特に、最初と2番目の馬の騎手の間に何かしらのタイムギャップがあると示すものは何もありません。2番目の馬に乗っているものによって奪われた平和があります。そして、アラブ諸国で掲げている国旗と、馬の色との関連性に、読み取るべきものはないと思います。

[マイク牧師] かなりのこじつけですね。

[バリー牧師] しかし私たちは、反キリストがどこから来るのかを知っています。彼は復活したローマ帝国の一部から出ます。彼はダニエル書の書かれた時点で「来るべき民の君」です。そして、「来るべき民」とはローマ帝国です。第四の獣であり、二段階に分けて西ヨーロッパから再び立ち上がり、反キリストはそこから立ち上がり、ユダヤ人を含め、国々を欺きます。彼らが、荒らす忌まわしいものを見て、神が彼らの為に用意された安全な場所に逃げ込むことになるまで、少なくとも一定期間は。だから、反キリストがイスラム教徒である可能性はないと思います。実際のところ、大患難の時期には世界中が新しい宗教に追随することになるのです。

[マイク牧師] そうですね。

[バリー牧師] だから、反キリストはその時代に他の神々や偽キリストにはあまり寛容ではないでしょう。彼は自分はカミだと宣言します。あなたは彼を崇拜しなければ、首が飛ぶか、殺されるでしょう。

[マイク牧師] そうですね、問題が多いし、聖書を拡大解釈しないと… アミール？

[アミール] スレッドを見ているんですが、お聞きください、多くの人がイスラム教徒の反キリストを示唆しています。彼らが今日、エルドアンを見ているからです。皆さん、お聞きください。エルドアンは反ユダヤ主義者です。彼はイスラエルを憎んでいて、彼が神殿の丘にユダヤ人の神殿を許すことは、決してありません。頭を使ってください。トルコはエゼキエル38章で主によって取り扱われます。トルコは反キリストを生み出しません。トルコは、どちらかといえばエゼキエル38章の戦争中にほぼ一掃されます。だからイスラエル人は誰も… 私が知っている人は誰も、エルドアンを救世主つまりメシアだとは思わないでしょう。いいですか、頭を使ってください。イスラム教徒は、ユダヤ人が神殿の丘に神殿を建てるのを認めていないことを理解せねばなりません。これは、とても簡単なことです。ここは、彼らにとって神聖な場所なのです。絶対に… ですから、前にも言ったと思いますが、神殿の丘にユダヤ人のための神殿を建てる事を含んだイスラム教国家との平和条約は、決して絶対にありません。それは含まれていません。だから、バリー牧師がいつも言っていたように、戦争が起こらねばならないのです。それが…エゼキエル38戦争の参加者をロシア以外で見ると、これらはイスラム教の過激派を代表しています。その過激なイスラム教が根絶されると、混乱した穏健なイスラム教徒が言うでしょう。「ちょっと待って。これはどうなっているんだ？」そして、新世界宗教が、彼らを受け入れます。そして、それは別の話になります。新世界宗教、新政治システム、新宗教システム、新金融システム、これらは反キリストが立ち上げようとしているものです。だから、反キリストは絶対にイスラム教徒ではあり得ません。なぜなら、イスラム教徒はユダヤ人が神殿の丘の自分の神殿で礼拝することを許さないからです。つまり、それはとにかく起こらないんです。皆さん、そう教える著者や教師がいることは分かっています。彼らはイスラエルを知りませんし、彼らはユダヤ人を知りません。私が知っているユダヤ人は一人も… マイク、私はかなりの数のユダヤ人を知っているけど、エルドアンが我々の友人だと思っている者は誰ひとりとしていません。私たちは実際、彼を軽蔑しています。彼は反ユダヤ主義者であり、彼は私たちを憎んでいます。

[マイク牧師] また、興味深いのは、グローバリズムが存在して、聖書の言う事が本当に真実で、すべての人が世界統一秩序に来て、社会的、政治的、財政的、宗教的なシステムを共有するのなら、イスラム教はかなり排他的です。それはあまり適合しません。ところで、皆さん、私のように、中東、特に湾岸諸国を旅すると、イスラム教は人々にとって、あまり意味を持たなくなっています。そしてグローバリズムはそういう人々にとってますます意味を持ち、彼らはいわば宗教を失いつつあります。だから、とにかく私たちはそれが擁護できる理論だとは考えていません。次の質問に移ろうと思います。プリシラからの質問です。

[バリー牧師] マイク、ちょっといいですか？

[マイク牧師] ええ、バリー牧師、お願いします。

[バリー牧師] ええ、視聴者の役に立てればと思って。エゼキエル38~39章を読んでいると、古代の名前が次々と出てきますが、これらは、そのほとんどは創世記10章の国々に関連しています。そして、これを読んで疑問に思った人の手助けをしたいと思います。エゼキエル38章の3節から最初に見てみると、主は、ロシの君であるゴグに敵対しています。（※日本語聖書では、文語訳に「ロシ」とあります。）ほとんどの聖

書解者はそれをロシアと見ています。メシェクとトバルはトルコであり、この軍隊は大盾と盾を持ち、剣を取り、完全に武装した大集団であることが語られています。そして、現代のイランであるペルシャと、エチオピアがあります。古代において、エチオピアは単にエジプトの南にある領土を意味していました。そしてリビアは再び現代の地域であり、エチオピアは現代国家ではなく、スーダンを代表します。そして、ゴメルとトガルマの家は再びトルコを代表しています。ですから、トルコはこれに重要な役割を果たしています。私たちは、復活したオスマン帝国のスルタンを志すエルドアンが勢力を増しているのを見てきました。しかし、そこにこれらの名前が出てくるんですよ。ヘロドトスなどの歴史家は、ノアの子孫たちがどこに住したかについて、私たちにいくつかの洞察を与えてくれました。ペルシャは分かりやすいです。私たちは、彼らが今どこにいるのか知っていますし、ロシアもそうです。だから、私たちはこれらの特定の国々に言及し続けているのです。彼らは連合であり、イスラム過激派の85%を占めています。彼らが戦利品と略奪を求めてイスラエルに侵入する時、神は彼らを滅ぼされ、彼らをイスラエルの山の上に死屍累々のままにしておかれるのです。だから、これで少しは誰かの役に立てていたらいいですが。

[マイク牧師] ああ、それは非常に参考になります。名前を教えてくださいありがとうございます。皆の時間の節約にもなりますね。そして、皆さん念のために、YouTubeチャンネルのアミールの「ゴグとマゴグ」の教えをご覧ください。それはさらに踏み込んで、これがもっとよく分かるようになります。これはおそらくそれに関連した最後の質問です。私はプリシラに約束しました。これは簡単な質問です。アミール。

Q：「これらのイスラム教国家は本当に平和を望んでいると思いますか？ これは誠意ある平和条約なのでしょうか？」

[アミール] ええ、彼らがそこにいるのは、イスラエルを愛しているからではないと言っておきます。イランを恐れているからです。それを非常に明確にしましょう。彼らに、ユダヤ人国家への生まれながらの愛とか、純粋なシオニストの啓示があるからではありません。そうではありません。彼らは今、地図を読んでいるのです。そして、彼らは2015年にアメリカの大統領がイランと調和し、イランが望んでいたすべてのものを与え、彼らを裏切って、基本的に彼らを危険にさらした事を理解しています。そして何が起こったかという、その瞬間から彼らは理解していました。そしてマイク、聞いてください。2016年から既に私たちはこれらの国々と水面下で秘密会議をしていました。そして、トランプ大統領が当選した2016年、彼が海外視察で最初にやったことは何でしたか？彼はサウジアラビアに行ったんですよね。覚えてますか？

[マイク牧師] そうです。

[アミール] それから彼はイスラエルにきました。勘違いしないでください。それは偶然ではありませんでした。トランプは、サウジアラビアからのメッセージをイスラエルに届ける必要があったのです。だから彼は先ずそこに行ったのです。ネタニヤフは実際に、彼に「できることなら、サウジアラビアの国王が何を考えているのか知りたい」と尋ねました。ちなみに、王ではなくて、それは皇太子です。国王は自分の名前も分からないかもしれないので。しかし理解していただきたいのですが、マイク、忘れてはいけないのは、それはただ、利害関係が本質にあるということです。今のイスラエルは、イスラム文化が私たちについて言うことを全て歓迎しているわけではありません。

[マイク牧師] ええ、それは理不尽でしょう。

[アミール] ええ、でも現時点では…お聞きください、覚えておかなければならないのは、イランは…ちなみにイランだけではなく。私も知ったばかりなんです、イランはこちら側から、でもトルコはこちら側からなんです。トルコは今、イランと同じくらい悪く、攻撃的です。トルコは今や、手に負えなくなっています。そして、私が伝えたいことは、今、穏健なスンニ派イスラム世界は、一方ではトルコから、他方ではイランから脅かされていますが、彼らは一つのことを知っています。11月にはアメリカで選挙が行われます。そしてトランプが勝たないなら、イラン協議は復活するでしょう。だから、彼らはイスラエルが彼らを助けるよう、イスラエルを拘束するような既存の協定で自分たちを確保しなければなりません。私が今、言っていることが分かりますか？

[マイク牧師] 彼らにとっては賢明な行動です。彼ら自身の安全を守るための、戦術的な決断だったという事ですね。

[アミール] これも我々の側でも賢い動きであり、その理由をお話ししましょう。これを聞いてください、マイク。イランは、イスラエルに向けて軍隊と武器を、物理的に、イラクとシリアを経由して我々の国境まで前進させるのに手慣れていました。イスラエルは初めて、イランから40~50マイルの距離の場所にアクセスできるようになります。もしUAEがイスラエルの偵察システム、イスラエル軍、イスラエルの諜報機関をそこに駐留させるなら、私たちはイランから40マイル（約64km）の距離にいる事になるんですよ。

[マイク牧師] すごいですね！

[アミール] それは彼らにとって悪夢です。ですから、はい、それがイランが今とても怒っていて、トルコが今とても怒っている理由です。今、誰が腹を立てているかを見ると、それがイスラエルや、スンニ派イスラム教徒にとって良い取引だというのが分かります。

[マイク牧師] ええ、戦術的には、これは社会的、政治的、経済的に、誰にとっても理にかなっていません。つまり、理由はたくさんあります。そして、これは反キリストの取引ではありません。違います。

[アミール] 違いますよ！勘弁してくださいよ。私には、クリスチャンが一日中この反キリストの事を考えているとは、想像が付きません。皆さん、私たちは、反キリストを待ち望むのではないことを忘れてはいけません。私たちはイエス・キリストの到来を期待しなくてはなりません。そして、ちょっと聞いてください。非常に大勢の人がエマニュエル・マクロンについて私にメールを送ってきて、彼の名前を分析したり、彼の名前の意味やあれこれを分析したりしています。そして、私はあなたがたを尊敬していますし、愛していますが、あなたがたにお伝えしたいことがあります。反キリストは、全世界から崇拝される別の誰かになるでしょう。マクロンは、自国民からも尊敬されていません。

[マイク牧師] ええ、それが問題ですね。私は彼だとは確信していませんが、はい、確かに世界のその地域から出ることは同意します。

[アミール] ええ、そうですね、昨日のライブアップデートをご覧ください。これは、全体像を理解するのに役立ちます。バリー牧師に聞きましょう。

Q：「ゴグとマゴグの戦争は、ハルマゲドンと同じですか？そうでなければ、違いは何ですか？」

[バリー牧師] ええと、参加者が異なりますから、完全に異なる2つの戦闘です。エゼキエル38~39章のシナリオには、参加する国が書いてあり、私たちは、今そのリストを見て行ったばかりです。このエゼキエルの侵略の結果を見れば、神はイスラエルの国のために戦われます。欽定訳によると、侵略軍の六分の五は、イスラエルの山の上で死んでしまいます。彼らの自国もこの戦いの影響を受けます。この戦いは規模が限定されており、地理的領域が特定されています。そして、アルマゲドンの戦いに目を向けると、やはり、千年王国の終わりについて尋ねる人たちがでしょう。ゴグとマゴグがそこに言及されていますから。でも、全く異なる規模で、異なる勢力の数、異なる戦場であるからです。腐肉や肉を食べる鳥が存在するからと言って、人々がエゼキエル38章の戦争とハルマゲドンに関連付けるのは奇妙なことだと思います。捕食動物はどんな戦いにでもいるでしょう。戦場に多数の死者が転がっていれば。だから、そのために関連付けるべきではありません。侵略する軍隊が異なっていて、戦闘範囲も異なり、結果も異なります。だから聖書には、この二つは全く違う出来事だとはっきりと書かれていると思います。一つは、私が大患難時代の幕開けに起こると思っているもので、エゼキエル38章の侵攻です。イスラム教の過激派を排除するでしょう。もう一つは、患難時代の終わりに、ヨハネの黙示録19章で主が来られる時で、主はご自分に敵対した国々を、御口の剣、すなわち神のみことばで滅ぼされます。つまり、2つの異なる戦闘のシナリオ、2つの異なる参加者、2つの異なる結果です。

[アミール] マイク、このUAEとの和平のおかげで、私はUAEへ行って、そこで講演できると思います。そこに、フィリピン人が何人住んでいるかご存知ですか？私はそこで講演してほしいと一度ならず招かれましたが、もちろん、行けませんでした。今ならできますし、アラブの国に上陸して、教会に行って、聖書の預言において重要な役割を果たすであろう、まさにその場所で、聖書の預言について語るができるのは光栄なことだと思います。ですから、それは非常に重要な事です。そして多くの人々がこう言っています。

「アミール、私たちは自分のために反キリストのことを尋ねているのではなく、私たちの愛する人のために尋ねているのです。」それは分かりますけれども、彼の正体が明らかになるのは、私たちがここを出た後のことです。私たちにはそれが誰なのか分からないのです。だから、私たちは、それが誰なのかと毎日推測することはできません。聖書は、第二テサロニケ2章7節に、引き止める者がそこから取り除かれて初めて、不法の者が現われると書かれています。彼は、その前には現れることができません。それが誰になるのかといつも推測する必要はないのです。それで、覚えておいてください。皆さん、家に帰ったら、黙示録13章を読んでください。そして、その記述に当てはまる世界の指導者がいるか、教えて下さい。私には、一人も見つかりません。彼は、もうすでに生きていられるかもしれません。誤解しないでください。でも、まだ現れていません。私たちには分かりません。まだです。その描写はかなりゾッとするものです。13章以降を読んで、自分の目で確かめていただきたいと思います。ビックリするほどすごいです。自国で殆ど尊敬されていない大統領ではありません。それは誰か… 彼は、致命的な傷が治ってしまったような者です。（3節参照）世界全体が驚嘆して崇拜するような人です。まだ誰も見たことのないものです。私は今、アドルフ・ヒトラーのドキュメンタリーを観ているんです。なぜ観ているのか分かりませんが、人々がどうして悪魔のような人を崇拜してしまうのか、興味をそそられたんです。私は、ドイツの大部分がアドルフ・ヒトラーを崇拜したように、最終的には全世界が反キリストを崇拜するようになるのではないかと考えています。だからこそ、今現在、既存のリーダーのリストを持ち出さないことが重要な事です。誰一人としてそのような人物の要件にひっかかりもしないのですから。

[マイク牧師] ええ、そして私はアンダーウッドさんが掲示板で仰ったことが気に入っています。「私たちがいつも辿り着く、同じ真実です。教会はイエスを待ち望んでいます。私たちは日々の生活の中で、今、イエスに目を向け、空中でイエスが会いに来てくださることを期待しています。そして、それによって、私たちはお互いに励まし合うのです。」それに加えて、友人の皆さん、この件に関しては意見が割れています。私たちはイエスへの信仰において一つにまとまり、この件について成熟した議論をしなければなりません。だからこそ、私たちは、皆さんに考えてもらい、勉強してもらい、聖書をよく調べるベレヤ人のようになってもらうために、これらのQ&Aを提供しています。タミーからの質問です。そして、私はバリー牧師に最初にこれを投げかけたいと思います。ヨハネの黙示録で言及されているイスラエルの部族ですが、これらの人々のそれぞれがどの部族の出身なのか、どうしたら分かるのですか？ と言うのも..タミーがこう質問したわけではないんですが、タミーさん、私はあなたが聞いたかったのはこう言う事だと思います。

Q：「すべてのユダヤ人が世界中に散らばっているのなら、どのようにして自分たちがどの部族であるかを知ることができるのでしょうか。それは追跡可能ですか？」

そして最後に、これに関連して、アミールに聞きます。

Q：「あなたはユダ族出身のユダヤ人だとどうして分かるのですか？」

それではこれをまな板の上に乗せて、バリー牧師の話を聞きましょう。どの部族なのか、どうやって知るのですか？

[バリー牧師] 私は人々が知っているかは重要ではないと思います。神はご存知です。そして神は、イスラエルの12の部族のそれぞれから、12,000人を数えられます。興味深いリストとの調整があります。ダン族はリストから外れますが、彼らは千年王国では言及されています。時には、12部族のリストにはヨセフの二人の息子たち2人が言及され、ヨセフが言及されていないこともあります。そして、今は息子が一人だけ言

及されていて、ヨセフが挿入されています。だから、リストがこの特定の意味でどのように形成されるかは興味深いことで、それがなぜそのようにまとめられたのか、本当のところは誰も知りません。しかし、一つははっきりしている事があります。彼らにご自分の印を押されるのは神であり、これらの名前が挙げられているイスラエルの部族のそれぞれから、12,000人が出てくるということです。そして、人間が部族ごとに並んで、最初の12,000人が入るといようなものではないと思います。神はこの大患難の時に、彼らにしるしをつけます。神は彼らが誰であるかを知っていて、神は、私たち自身よりも私たちの事をよく知っておられます。そしてイスラエルの失われた部族はありません。神が物を失い始めたら、私たちは皆、困ってしまいます。彼らが各国に散らばっていたとしても問題ありません。神は、彼らが国々の間に出ていくときに、小さな聖域を与えると約束したのです。神は、ご自分の民を捨てたわけではないし、忘れたわけでもありません。主は誰が誰であるかを正確に知っておられて、大患難の期間に12部族から12,000人に印を押されません。その期間のイスラエルの12部族に関連した12の名前です。DNAの研究は、非常に素晴らしいものですね。そして、ユダヤ人は歴史を通じて緊密に結びついた共同体であり、大部分においては、ユダヤ人同士で結婚してきました。民族性に関して言えば彼らのDNAは非常に純粋であり、他の国と比べて追跡するのは簡単なので、それほど難しいことではありません。しかし重要な答えは、神は彼らが誰であるかを知っておられるということです。神が彼らに印を押されます。

[マイク牧師] アミール、あなたはユダ部族のユダヤ人ですね。それをどう説明しますか？つまり、どうやって知りましたか？

[アミール] 父が私にそう言ったからです。

[マイク牧師] ええ。

[アミール] 実際のところ、マイク、神殿が破壊されて記録が損失して以来、ちなみに、そのために、イエスは神殿の崩壊の前に来なければならなかったのです。イエスの系譜は完全に議論の余地のないものであらねばならなかったからです。しかし、それ以来、それは父親から息子へと受け継がれます。いくつかのケースでは、私たちはレビ、レバイト、コーエンのような苗字で分かることもあります。これらはレビの部族です。しかし、他のケースでは…ほら、私の苗字はツアルファティです。ツアルファティの意味を知っていますか？ツアルファティは「フランスの」という意味です。私はフランスとは何の関係もありません。私はフランス人ではありませんが、ユダヤ人には元々姓がありませんでした。姓は、実際には出身地、または以前何をしていたかを表します。私たちは、フランスに辿り着いたユダヤ人家族で、それからポルトガルに移りましたが、それでもフランス人と取引を続けていました。私たちは、ポルトガルに来たツアルファティ、つまりフランス人で、最終的には、1400年代後半には私たちはフェルディナンドとイザベルによって追放され、オスマン帝国が喜んで受け入れてくれました。そして、…その頃、私の父方の家族はチュニジア、アフリカ北部まで移りました。地中海周辺の様々な場所でツアルファティという苗字が見つかります。しかし、ポイントは、マイク、私たちは常に父親から息子へと、私たちがどの部族から来たのか教えられたことです。ちなみに、このために、エチオピア人やインドのユダヤ人は皆、マナセかダンの出身であることを知っているのです。

[マイク牧師] そうですね。私が間違っていたら訂正してください、皆さん。創世記49章10節には、「王権はユダを離れず、王笏はその足の間を離れない。ついには彼がシロに来て、諸国の民は彼に従う」と書いてあります。したがって、ユダは最後に残った部族でした。ローマが攻撃してきた時も、祭司であるコハニムがいました。ユダヤ人と呼ばれているのは、ユダ族の出身だからです。ヘブライ語では、イエフダ族のイエフディム。間違っている場合は訂正してください。

[アミール] いいえ、間違いありません。しかし、説明しておかないといけません。西暦70年の神殿が破壊された瞬間から、各家族がどの（部族に属したか）、すべての記録が全部消えたわけです。だから、私たちは家庭伝承に頼っています。

[マイク牧師] 口伝え、口伝の真理。

[アミール] そうそう。そうです。そして、私たちに分かっていることは、マイク、バビロンから戻って来たのは、その時期に、おもにユダとベニヤミンの部族だったということです。だから、それはすでにうんと小さな部族のグループに絞られていて、それからもちろん、私たちが追放された後は、もっとそうだったわけです。そういうわけで、私たちは知っているんです。

[マイク牧師] ええ、ちょっと個人的な質問なのに、それに打ち込んで、どういう仕組みなのかを教えてください。感謝しています。皆さん、掲示板で、感謝の気持ちを伝えてください。さて、1時になります。お二人さん、最後の質問に答えてくださいますか？

[アミール] はい、そうですね。良いですよ。今日は素晴らしい質問が出ていると思います。

[マイク牧師] OK。では、ジョシーの質問です。これは、千年王国に関することです。

Q：「救われていない人々も千年王国の一部ですか？」

言い換えれば、千年王国では、救われないでいられるのでしょうか？

[アミール] もちろん、千年王国の終わりを読むと、サタンの仲間入りをする人が非常にたくさんいます。サタンは底知れぬ穴で過ごした1000年後に解放されます。だから多くの未信者が、土壇場でサタンに加担します。彼はそこで負け、一巻の終わりとなるでしょう。ですから、絶対にいます。

[マイク牧師] バリー、何か付け加えることは？そうでなければ、バリー牧師、あなた用に究極の変化球（難問）がありますよ。

[バリー牧師] ええ、イエスは言われました。

「もしその日数が少なくされないなら、一人も救われないでしょう。」（マタイ24:22）

それは肉(人間)が大患難を乗り越えて行くことを暗示しています。それがどれだけの数になるのかは分かりません。しかし、地球上で自然の肉体の状態、千年王国世代のキリストの統治に入る人々は、その間に子どもを産むことになると、私たちは知っています。そして、私の頼みの綱は、いつもこの通りです。もし地上に罪がないのなら、なぜイエスは鉄の杖で国々を支配する必要があるのか？そして、イエスはダビデの玉座、人間の政府の御座に座られようとしています。その期間、不服従に対しては報いがあるでしょう。その期間には死があります。「百歳で死ぬものは若かった」と書かれてはいますが。（イザヤ65:20参照）つまり、人間は長生きするでしょうし、もし100歳で死んだなら、今の時代に比べれば、幼児のようなものだという事です。ですから、罪の報酬は死です。（ローマ6:23参照）死がついに、永久に続く永遠の王国から取り除かれるとき、死は逃げ去り、その原因となるすべてのもの、すなわち痛みや病気や悲しみも同様に過ぎ去っていきます。そうです、千年王国には罪人がいるので、千年王国には罪があります。そして、その期間の終わりにサタンが解放された時に、彼らは悪魔に味方し、戻って来られる王と戦います。それはイエスで、主は、究極的に彼らを滅ぼされ、大いなる白い御座の裁きが来て、永遠の状態に入る時に、罪人と救われた人との恒久的な分裂が行われるのです。

[マイク牧師] それはまるで神が次のように言っておられるようですね。「わたしは1000年かけて、わたしは今の人間の指導者とは違う完璧な王の姿を見せよう。今とは違う完璧な政府の姿を見せよう。完璧なシステムを見せよう。都市の機能と、裁判所の機能と、都市のインフラの全ての機能を完璧に。そして、わたしは、サタンと全ての悪霊どもも取り除こう。最後に、誰がわたしを選ぶのか見てみよう。」と。こんなに理想的な環境を作ってくださるのに、それでも人は悪魔に従おうとするなんて、なんと愚かなのでしょうか。マイク・フットからの質問です。アミール、これは変化球です。横から真っ直ぐ入ってきます。

Q：「千年王国の信者が死んだら、その人はどこに行くのですか？」

[アミール] 彼は、大いなる白い御座まで待たねばならないだろうと思います…全ての人がそこで復活するので。そして、聖書には、自分の名前がいのちの書に書かれていない者は、すべて火の池に送られると書かれていますが、これは、子羊のいのちの書に自分の名前が書かれているならば、そうはならないことを示しています。しかし、私が間違っていたら、バリー牧師、訂正してください。千年王国と、大いなる白い御座のさばきの間には、余計な携挙や復活は見られません。私は合ってますか、間違ってますか？もしかしたら私は何かを見落としているかも？

[バリー牧師] いや、そのような聖書的な証拠があるわけではないと思います。私たちは分かっている事に頼らざるを得ません。この時点で信者が死ぬと、肉体を離れることは、主と一緒にいることです。(2コリント5:8参照)大いなる白い御座のさばき、その時が、信じない死者が復活するときであり、それ以前ではありません。私たちは、「残りの死者は、千年が終わるまでは生き返らなかった」(黙示録20:5)と教えられています。つまり、これが本質的に第二の復活です。そして、それが千年王国と歴史の過程を通じて、信じないで死んだ者たちが神の御前に立つことになる時です。死もハデスも、その中にいる死者を出し、彼らは神の御前に立ち、彼らはその行いによって裁かれます。ちなみに、私は自分の行いによって裁かれたいとは思いません。私はイエスの血によって裁かれたいと思ひ、それが私の大きな罪の負債を満たすものであってほしいです。そして、私は自分の善行が自分の悪行を上回るかどうか、神に大きな量りを持ってほしくないと思います。私には弁護士が必要です。私と御父との間で弁護して下さる仲介者が必要です。それはイエスご自身です。そしてイエスは、私の罪と、他のすべての人の罪の代価を支払ってくださいました。イエスは全世界の罪を贖い、私たちに信じるようにと呼びかけておられます。

[マイク牧師] さて、これはちょっと楽しいものです。遅めのスタートだったので、もう少し時間をかけてみますね。JA・オールデイ、ちなみにあなたの名前が気に入りました。韻を踏んでいるところがいいですね。素敵なお名前、JA・オールデイからの質問です。

Q：「なぜ私たちが今日話していることを知って、説教している牧師がもっといないのですか？もっと多くの牧師に、これらの預言の現実に目覚めてもらうには、どうしたら良いでしょうか？」

アミール、あなたは多くの牧師を知っていますし、アミール、あなたは多くの牧師と話します。JA・オールデイに対するあなたの説明は？

[アミール] 正直なところ、大きく分けて2つの理由があると思います。一つに、それは人を怖がらせて、彼らを追いやり、逃れさせるものではありません。二つに、マイク、聞いてますか？二つ目に、預言の面ではたくさんの狂人がいて、明確さがなくなるほどに、物事を混乱させています。それは大きな混乱なので、多くの牧師は、これに関わらない事を選択するんです。私がこの話題に触れないのはA)誰が正しいのか誰に分かるのですか？B) 私は人々を怖がらせたくありません。バリー牧師、あなたは先週の土曜日の座談会でジャン・マーケルとそれについてお話をしました。調査があったと言ったのは、私の記憶違いでなければ、あなたでしたよね？…調査では…人が教会を離れたり、教会に行ったりする原因について。それで、彼らが作り出したのは新しいタイプの…。

[バリー牧師] ああ、そうそう、求道者運動が始まった頃、近所で人口統計学的な調査が行われ、人々に尋ねていました。「あなたが教会に来ない理由は何ですか？もし私たちがそれらをすべて変えたら、あなたは教会に来るでしょうか？」それが「unchurched(教会に属さない)」という用語が教会用語にはいつか頃の話です。何となくその趣旨は分かりますけど、しかし、私はその言葉は好きじゃありません。なぜなら、それは「教会に加入する」ことで問題が解決することを暗示しているからです。人は「教会化」される必要はなく、「救われる」必要があり、イエスのみもとに来る必要があります。私たちは自分たちの教会のことを伝えて人々を招待する必要はありません。私たちは救い主の事を伝えねばなりません。救うことがで

きるのはイエスだけだからです。この質問に照らすと、こんにちの出来事の多くは悲しいものです。そして、その救済策は、文化や社会に関連した特定のトピックについての説教シリーズをするよりも、彼らがただ聖書を教えれば、もっと多くの人が興味を持つと思います。聖書を一行ずつ、戒めに戒め、規則に規則、ここに少し、あそこに少し、と教えるなら預言に遭遇することになり、そのための宿題をしなければならなくなります。そうすることで、人々は耳を傾け続け、イエスが教会のために来られるという希望によって、慰められ続けることでしょう。私は主がもうすぐ来られると信じています。

【マイク牧師】 とても良い説明です。

【アミール】 マイク、これはまさにそれです。バリー牧師、まったくその通りです。神のみことば全体の教えが不足しています。つまり、それが問題です。両極端があります。7割だけ教えて預言を放置している人と、あとの3割ばかり話していて、あとは放置している人。そして、私たちはただ、AからZまで不足なく忠告を教え、信仰の本質について語り、今日、信者としてどう生きるかについて、また、聖書が語る未来の出来事について話す必要があるのです。私たちがでっち上げているのではありません。つまり、聖書は私たちが教えを受けて理解するためにそこに書かれています。黙示録をご覧ください。「幸いである」のはどんな人ですか？(1:3参照) 朗読し、聞いて、…何ですか？心に留め、耳を傾け、聞き入れる、そう、聞き入れる人です。これは教会のための本です。これは他の誰かのためのものではないんですよ。そして、それはイエス・キリストの黙示です。(黙示録1:1参照) イエスはあなたがたに、ご自身が誰であるかを知ってほしいと願っておられます。イエスは私たちに、書簡と福音だけでなく、それ以上のことを理解してほしいと願っておられます。私たちは、なぜその書を無視するべきでしょうか？神の最後のみことばが書かれた、個人的な手紙であるのに、なぜそれを脇に置く必要があるのでしょうか。それは、私の理解を超えています。私には理解できません。

【マイク牧師】 ええ、お二方のご指摘は素晴らしいです。そして、私はこの点で群衆に対処する上での謙虚な姿勢に感謝します。私は皆さん方が、皆さんが牧師の失敗において牧師のために祈っている事を願います。もしかしたら、彼は戒めに戒めで教えてないかもしれません。もしかしたら、彼は、預言をあまり十分に学んでないかもしれません。まあ、そのために私たちがここにいるんですが。そのため、無料で動画をご提供しています。だからこそ、私たちは、牧師が簡単に聖書を教えられるように、できる限りのことをしています。しかし、忘れてはいけないのは、あなたがたの牧師のために祈り、敬意を持って対応してください。聖書に書いてあるように、証人が2人か3人いなければ、告発を受理するべきではありません。(第一テモテ5:19) 私はあなたたち皆が、これまで通り、成熟した対応をすることを期待しています。掲示板に書き込みが殺到してます。一時間を12分過ぎました。最後の質問で締めくくります。ナグハマディ図書館のシビルラインオラクルによると、ネブカデネザルの神殿に7番目のレンガを築いたのは誰ですか？冗談、冗談です。ただかつごうとしただけです。

【アミール】 今、言おうとしてたのに。

【マイク牧師】 ここで実際の質問です。

【アミール】 答えを出そうと思っていたのですが。アレクサンダー大王の池にいた3つ頭があるワニ。

【マイク牧師】 それで、話は終わりです。はい。誰かが笑ってくれるかなと思ったんです。私たちにもユーモアのセンスがありますよ。誰もがここで起きていることに同意していないことも分かっています。しかし、尊重し、一致し、イエスに目を向けることを忘れないでください。という事で… Q&Aをするたびに、質問がたくさんきます。今もです。しかし、アミール、バトンタッチして、閉じる前に最後に考えを聞かせてください。

【アミール】 皆さん改めて感謝します。バリー牧師も一緒にいてくださり、ありがとうございます。そして、これは素晴らしい交わりの時間で、あなたがたとの交わりの中で、お二方の信じられないほどの聖句の知識と聖句の理解から学ばせてもらっています。マイク牧師、司会進行してくださって、ありがとうございます。ありがとうございます、何千人も何千人の人たちが…文字通り、私は今日、カタールから、UAEから、バーレーンから観てくださる人たちを見ました。あなたがアラブ系なのかフィリピン系なのかは分かりません。あち

らにはフィリピン人やインド人も多いですからね。でも、私たちは、あなたがたがここにいるという事実がすごく嬉しいです。そしてもちろん、世界中の皆さん、今日にご参加くださって、ありがとうございます。私たちは皆さんを愛しており、皆さんのために祈っています。そして明日、YouTubeで週に1度の国際祈禱会がZoomで開かれます。そして、これを見てくださった皆さんに改めて感謝します。そして、これは後でYouTubeに投稿されます。できるだけ多くの人にシェアしてください。あなたにとっては一度ボタンをクリックするだけの事ですが、多くの人々の人生を変える可能性があります。マイク牧師、お祈りと挑戦で締めくくっていただけますか？

[マイク牧師] 喜んで。はい。もしあなたがこれを見ていて、イエスとの立ち位置が分からないなら、魂を賭けてはいけません。あなたの魂でギャンブルをしてはいけません。今すぐ打ち明けて、告白して、「イエス様、私は罪人であることを認めます、赦しが必要です。私をお赦しください。」とってください。第一ヨハネでこう述べられています。

「もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」もし、自分には罪がないと言うなら、…私たちのうちに真理はありません。（第一ヨハネ1:8参照）

主よ、あなたの赦しに感謝します。もしここまで来たならば、友よ、今すぐイエスに祈り、尋ねてください。

「イエスよ、今すぐ私の人生にお入りください、私の救い主、主となってください。あなたと共に歩む方法を示してください、特にこのような日々の中で。私の目を開いてください、イエス様。」残りの私たちにも、主よ、私たちの目を開き続けてください。いろいろなことが起こっていて、聖書は何年も前に書かれたとはいえ、今日、特に中東で起こっていることについて、すべてのことをその絶対的な真理に向かって呼びかけています。私たちは今、主の祝福を携えて行きます。主よ、ありがとうございます。ここに参加したすべての人と、YouTubeとFacebookでこれを見ている人たちをどうか祝福してください。イエスの御名において、お祈りします。アーメン。

[アミール] アーメン。Instagram、Facebook、YouTube、TwitterのBeholdIsraelで私たちをフォローしてください。バリー・スタグナーもフォローしてください。インスタグラムとフェイスブック、そしてYouTubeでもフォローしてください。「The Truth of the Word」で合ってますか？

[バリー牧師] 「The Truth About God」です。

[アミール] 「The Truth About God」、失礼しました。

[バリー牧師] 「The Truth About God」です。私の名前を入力するだけで、見つかります。

[アミール] 皆さん、ありがとうございます。

God bless you!

そしてガリラヤ、ミネソタ、南カリフォルニアからシャローム、さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.12.01 (Tue)